

# 大島くるみ病院だより



医療法人社団 樫の木会

大島くるみ病院

〒939-0271

富山県射水市大島北野 48 番地

Tel0766-52-2580 Fax0766-52-8016



## 院内発表会

9月4日に第6回院内研究発表会が行われました。今月号から数回にわたって、紹介していこうと思います。今月は、褥創対策委員会の発表を紹介します。

褥創委員会では、毎月各病棟の褥創発生状況を調べています。発生予防の為日常の介護の中で、体交枕の工夫・皮膚の清潔や着衣の乱れ等による皮膚の圧迫を避けるようにしています。また、栄養状態の見直しをする事で褥創の発生予防に努めています。しかし、院内発生ゼロにする事は難しい現状です。栄養状態や皮膚の状態等、褥創の発生原因はさまざまですが、第一に発生しないようにする事が重要であり、発生した場合でも早期の治癒を目指す為に発生後のケアの工夫と見直しが大切です。今回、院内発表の機会に改めて、褥創の院内発生ゼロに向けて褥創とその予防について発表します。

### <はじめに>

① **褥創とは**・・・一定以上の場所に一定時間以上、一定以上の圧力が加わる事で、ある部分が圧迫され続けて、血液障害を起こし、やがては酸素や栄養もなくなり壊死してしまう事です。

② **褥創の発生要因**・・・①局所の持続的な圧迫 ②摩擦とズレ ③低栄養 ④湿潤 ⑤加齢 ⑥低血圧

### <今後の対応策と課題>

① **除圧**・・・①患者様の状態に適した体位交換を行なう ②シーツや着衣のシワを十分に伸ばす  
③エアーマットレスの使用方法確認

② **基礎として有効的な体位交換の入れ方**・・・背部→側臥位 30° 保つように仙骨から入れる  
下肢→片足に1つの枕を縦にして入れる

③ **臥位時の頸部の姿勢**・・・①円背であったり、枕がずれていると顎が上がった状態になりやすく、その状態で、頸部に過剰な力が入りやすく、全身の力を抜いてリラックスする事が困難となる  
②喉の動きが悪くなり誤嚥しやすい→体位交換も軽く顎を引いた状態が望ましい

### <考察>

ターミナル期での発生には予防が困難な場合もかなりみられますが、低栄養がすすみ浮腫が強くなってきた時は褥創必発と予測し、観察と体位交換をより一層しっかり行ない、日々、細心の注意を払って対応していれば発生を予防することが可能と思われます。今後も看護職員と介護職員が連携をとって、褥創発生ゼロを目指し、頑張っていきたいです。  
発表者…平野 真理子、境 厚美、塚原 朗子、橋本 真樹子

## 10月HAPPY BIRTHDAY!

- |          |     |          |     |
|----------|-----|----------|-----|
| 安藤 達男 様  | 69歳 | 北村 政雄 様  | 92歳 |
| 境 秋子 様   | 92歳 | 澤村 とし 様  | 89歳 |
| 荒木 美智子 様 | 79歳 | 黒崎 秋治 様  | 76歳 |
| 新畑 昭 様   | 76歳 | 土谷 あき子 様 | 86歳 |
| 藤岡 勇之助 様 | 71歳 | 開発 智恵子 様 | 81歳 |
| 新森 たみ子 様 | 94歳 |          |     |

## ★今月の顔★



## 境 秋子様

## CPR訓練

平成23年8月31日（水）  
全スタッフを対象としたCPR  
（心肺蘇生法）訓練が行われ、  
緊急時に的確に対応できるよう  
手順を確認しました。

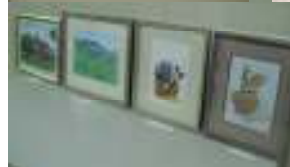
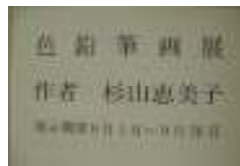


今回の訓練は、スタッフにとって  
とても良い経験になったと思い  
ます。今後も、こうした訓練を、  
定期的に行って、より良い医療・  
介護を患者様に提供していける  
様努力していきたいと思ひます。

## 色鉛筆展覧会

9月1日～30日

1階ホールにて、  
色鉛筆展覧会がありました。



芸術の秋にふさわ  
しく、とてもキレ  
イですね。

## ☆ショート買い物☆

9月7日（水）に、アルプラザ小杉へ買い物に  
でかけました。これからの季節に備えて、温か  
い靴下を買ったり、孫へのお菓子を買ったり  
…。皆さん、思い思いに買い物を楽しんでおら  
れました。



あっという間の10年でした。これからも、気持ちを引き締め  
患者様のためにできる事を日々努力していきたいと思ひます。  
今後もよろしくお祈りします。 富田 幸枝さん

## 10年勤続表彰



今年は4名の方が表彰されました。  
写真左から、橋本さん、山岸師長、  
富田さん、黒田さんです。  
皆さんのコメントを紹介します。

毎日の業務に追われている内に10年の歳月が過ぎました。  
少しでも患者様の満足していただけるケアを提供できるように  
スタッフと共に頑張りたいと思ひます。  
ありがとうございました。 山岸 芳美さん

10年間沢山のひとと出会い、たくさんのお話を学  
ばせて頂き、感謝しています。これからも利用者様  
の笑顔がたくさん見られるような介護をしていき  
たいと思ひます。 橋本 真樹子さん

皆様のおかげで10年を向かえる事ができました。良いケアができるよう  
努力したいと思ひます。これからもよろしくお祈りします 黒田あつ子さん

### ★編集後記★

10月1日は、新湊曳山祭りでした。私は、生まれが新湊ということもありお祭りが大好きで、毎年見に行くのが楽しみです。『新湊の者ちゃ、祭になったら血さわいでくんがいちゃのおー』と言いますが、まさにその通り！祭になると皆いきいきしています。

### 基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療・看護・介護に努めます。  
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。  
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。  
職員は常に自己研鑽に励み、医療・看護・介護の質の向上に努力します。平成23年3月7日改定

### 運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。